

イベント編



▲1991(平成3)年の土曜夜市



▲1992(平成4)年の土曜夜市



▲2001(平成13)年の土曜夜市



▲2005(平成17)年の土曜夜市



▲1997年の桜まつり大仮装行列



▲1997年の桜まつり大仮装行列



▲平成4年の桜まつりステージ



▲桜まつりでのフリーマーケット



▲平成16年全日本金持学会総会



▲1997年桜まつり大仮装行列



▲2001年桜まつりパレード



▲2001年桜まつりパレード



▲2001年カウントダウンイベント



▲1999(平成11)年あんず祭り



▲コイン通り街づくり委員会「花くらぶ」活動、季節の花を花壇に植栽



金持神に会える街オブジェ



▲金持福朗



▲ガチャみくじ



▲願いを結ぶ開運の若木



▲願いを伝える電話ボックス



▲金持地蔵



▲BLUE BIRD CAFE



▲金持稻荷大社



▲金持神社

## 4 歴史の証言

昭和52年商店組合ができ、同じ年の12月に私もコイン通りにやってきて早30年。思い出は沢山あるのに、これといった事は思い出せない。その中で忘れられない思い出と言えば、土曜夜市で100円野菜を販売した事がなつかしいですね。

夕方6時にみんなで並べて外のイベントが始まる迄に即売。やはり新鮮で安いと次の年もお客さんは覚えているものですね。

イベントも色々変わり役員さんも大変でしょうが、頑張ってください。

【中華料理 美餐軒 野浦 巖功】



昭和45年、私の出発点八幡川の狭い土手の道を新車に家族5人を乗せ、得意満面で運転する主人。

落合橋アッ！急な下り坂からドーンと広くて、真直ぐな道が延びて一造幣局通りだよ！舗装されない道路は穴ボコだらけ。歩道らしき所は草ボーボー蛙が鳴き、蛍が舞い、民家も商店も疎ら、国鉄のガタゴトとレールを走る音。時折汽笛の響く音が前に躍動していると強く感じた。

ド素人の私はその中央に15坪の店を借りた。それが三年後マツパランドに。

あれから37年間大勢の皆様のおかげで営業出来ました事は有難く深く感謝致して居ります。商工会商店組合又大勢のお客様大変有難うございました。言葉は足りませんが厚くお礼申し上げます。

【マツパランド 松葉 静枝】



今のコイン通り商店街振興組合の前進である五日市中央通り商店会が高木忠さんや市木要さん達で結成されたが、会費は町内会並だった(1,200円か)。

これでは活発な活動が期待できない、と青年部を立ち上げることにした。

五日市商工会の山本博明さんを招き、青年部の必要性を説いてもらう会議を高木ビル2階の喫茶店(ダン)で開いた。今後発展する「コイン通り」にも、若者のエネルギーが必要である、といった趣旨で、青年部結成が了承された。

青年部の会長は高木洋さんをお願いすることとし、釜本清、白石浩三、川崎卓夫、森昭義さんなどの協力を得て結成した。

年会費は、親会をしのぐ金額に設定し(6,000円か)、事業の夢を語り合った。

翌年になって、高木、市木さんの方から、親会の運営も青年部の方でお願いしたいということになり、役員は若くなった。

大きな事業は、街路灯である。当時の「コイン通り」は真っ暗で、通りから数十メートルの我が家から子供を通りに出すのも「危ない」状況であったが、多くの関係者の協力で「コイン通り」は、当時広島市内で最も明るい通りとなった。

土曜夜市も始まった。

それから30年、時の流れの早さに、ただ驚くばかりだ。

【唯山税理士事務所 唯山 重夫】



コイン通りはお店の顔、キレイにしてお客様をお迎えしなければいつも思っていました。平成5年オリンピックアジア大会の前後コイン通りは活気があり、人も車もふえた反面、通りにはビニール袋や空き缶が散乱して見苦しくなりました。私に出来ることを考えて空き缶の収集を始めました。木舟交差点から一丁目の陸橋まで

1500米の県道に当時45台の自販機が設置されていました。10月から3月までの半年間毎日記録しました。962個拾いました。店を閉めて帰る時間は午前2時頃。交通量は少なく日課として苦もなくやりましたが効果の程はわかりませんがあとのサッパリ感は気持ちよいものでした。10年余り前の思い出です。



【養老の滝 正木 巧】

大阪で修行中の私が呼び戻され「山根メガネ五日市店」を任されたのは若干22才9ヶ月という若さでした。

右も左も訳の分からない子供だったと記憶しています。ご近所には「だるま寿司」「道草」「甘党のやま」「喫茶琥珀」「おおすすめレコード」「ラジコン屋さん（ごめんなさい名前を忘れてしまいました）」「高田手芸毛糸店」敬称略などが活気に溢れご商売をされておりました。

また、当時の産業通り沿いには、畑があちこちにあり、これから開発が進み『発展するぞ』感で満ちていました。丁度ゴルフ熱が高かった頃で皆さんよく琥珀に集まっては馬を買いコンペをされておりました。

懐かしがっている場合ではない昨今ですが、ほんの30年ほど前の昔話です。

【glasses r 山根 聖】



これまでの組合活動の中で最初で最大の事業が、街路灯の設置でした。昭和57年、当時4千万円の大事業でした。森理事長を中心に広島市と合併する前の五日市町役場や議会に働きかけて、街路灯設置補助の為に条例を作ってもらい2千万円の補助を頂きました。㈱イズミからの1千万円、商店街の店や地域の賛同者から1千万円を集めて、夜が暗くて寂しいと不評だった通りが、夜も明るく、賑やかな通りに変身し、昼の商店街としての顔と、夜も賑やかなもう一つの顔を作りあげました。この街路灯設置を記念して現在も続く土曜夜市が誕生したのです。この事業を通じて商店街の一体化が進み、通りの発展の礎となった出来事でした。

【かわの 川野 猛】

